

第1学年 算数科年間指導計画 (時間136 ①44 ②64 ③28)

* は「発展的な学習内容」を含む箇所

★は教育出版のWebサイトに「まなびリンク(デジタルコンテンツ)」がある箇所

月	単元全体・教材名	学習目標・学習活動	時数	評価規準	関連・系統
4 (4)	●なかよしあつまれ【4】 (どこがちがうかな)	①身のまわりの数量に対する関心を持ち、ある観 点に応じてものの集合を捉えることができる。(1～5) ・2枚の絵の違いを探し、多い・少ない、高い・低い、 しかく・さんかく、上・下、左・右などの言葉を用 いて表現する。 ・場面絵を見て、お話を作る。 ・同じ動物、ものなどに着目して、集合を作る。(5 までの数の集合作り) ・上下、左右など位置や方向を表す言葉を用いてお 話を作る。	1	【知技】・いろいろな集合を見つけた り、上下、左右などの言葉を正しく用 いたりすることができる。 【思判表】・動物の種類や位置、動作 などの観点から仲間作りを考えてい る。 (③まで同評価基準) 【態】単元を通じて評価する。 ・数や形に親しみ、算数の学習に 進んで関わろうとしている。	1年 1 いくつかな 2 なんばんめ 4 いくつと いくつ 10 かたち あそび 18 かたち づくり
	(なかまはどれ)	②身のまわりの数量に対する関心を持ち、ある観 点に応じてものの集合を捉えることができる。(6～10) ・同じ動物、ものなどに着目して、集合を作る。(10 までの数の集合作り) ・咲いているチューリップとつぼみのチューリップ を別の集合と捉えたり、まとめて1つの集合と捉え たりするなど、観点を変えて集合を作る。	1	【知技】・種類や位置、動作などの違 いを観点に加える場合と加えない場 合など、いろいろな集合を作ることが できる。	
	(たりるかな)	③ものともとの対応させたり、おはじきに置きか えて対応させたりして、ものの個数を比べることが できる。 ・ランドセルとロッカーを線でつないで、2つの集 合を1対1対応させて数を比較する。 ・ねずみとボールをおはじきに置きかえて、2つの集 合を1対1対応させて数を比較する。	1	【知技】・ものともとの対応させる ことによって、ものの個数を比べるこ とができる。	
	かたちをみつけよう	④身のまわりにあるものの形に関心を持ち、いろ いろな形を探ることができる。 ・身のまわりから、しかく、さんかく、まるなどの 形を探す。	1	【知技】・身のまわりからいろい ろな形を探ることができる。	
5 (12)	1 いくつかな【9】	①1～5の数の意味、数え方、よみ方を理解する。 ・場面絵を使っていろいろなものの数を数え、具 体物の集合とブロック、数詞を対応させる。 ・集合の大きさを「いち」～「ご」といい、1～5と 数字で表すことを知る。	1	【知技】・1～5の数の意味、数え方、 よみ方を理解している。 【思判表】・数の大きさを、ブ ロックや絵などを用いて表している。 (⑦まで同評価基準) 【態】単元を通じて評価する。 ・ものの個数を数を用いて表すこ とのよさに気づき、生活や学習に 活用しようとしている。	1年 2 なんばんめ 4 いくつと いくつ 9 10より 大きいかず 15 大きいかず 2年
		②1～5の数の数え方、よみ方、書き方を理解し、習 熟する。 ・1～5の数の大きさを理解し、数字の書き方を知る。 ・具体物の数をブロックや数字で表す。 ・数字で表された大きさを絵などで表す。	1	【知技】・1～5の数の大きさを理解し、 数えたりよんだり書いたりするこ とができる。	
		③6～10の数の意味、数え方、よみ方を理解する。 ・場面絵を使っていろいろなものを数え、具 体物の集合とブロック、数詞を対応させる。 ・集合の大きさを「ろく」～「じゅう」といい、6～ 10と数字で表すことを知る。	1	【知技】・6～10の数の意味、数え方、 よみ方を理解している。	
		④6～10の数の数え方、よみ方、書き方を理解し、習 熟する。 ・6～10の数の大きさを理解し、数字の書き方を知る。 ・具体物の数や、聞こえた音の回数などを数字で表 す。 ・数字で表された大きさをブロックなどで表す。	1	【知技】・6～10の数の大きさを理解 し、数えたりよんだり書いたりするこ とができる。	
		⑤10までの数の順序を理解する。 ・10までの数を順に唱えたり、ブロックや数字で表	1	【知技】・10までの数の順序を 理解している。	

	したりする。 ⑥10までの数の大小、系列を理解する。 ・数字カードを使って数の大小を比較する場面で、数の大きさをブロックに置きかえたり、大小を言い表したりする。 ・順に並んだ数の空欄に数をあてはめる。	1	【知技】・10までの数の大小、系列を理解している。	
(0というかず)	⑦0の意味、よみ方、書き方を理解する。 ・いちごが1個ずつ減っていく様子を見て、ないことを「れい」といい、0と書くことを知る。 ・輪投げをして1つも入らなかった状態が「0」であることを知る。	1	【知技】・無の0の意味、数え方、よみ方、書き方を理解している。	
ことばであそぼう	⑧文字を使った言葉遊びをとおして、数についての感覚を養い、加法の素地となる見方を培う。 ・ある文字数になる言葉を考える。 ・指定の文字数と同じ数になるように組を作る。	1	【知技】・指定の文字数の言葉を見つけたり、組み合わせで作ったりすることができる。	
もっとかずをみつけよう	⑨身のまわりにあるものの数に関心を持ち、10以下の数のものを探ることができる。 ものの性質や形状などによって数に添える助数詞が変化することを理解する。 ・学校の中から、1～10の数や集合を探す。 ・いろいろなものの数を、助数詞をつけて数える。 (p.176の[もののかずのかぞえかた]も扱う。)	1	【知技】・身のまわりから10以下の数のものを探したり、数を用いて表したりすることができる。	
2 なんばんめ【2】	①順番や位置の表し方、順序数と集合数の意味を理解する。 ・かけっこの着順、風船の位置などについてお話をすることとおして、1着、2着、…、上(下)から1番め、2番め、…のように順番や位置を数で表す。 ・集合数(3匹)と順序数(3匹め)の違いを知る。	1	【知技】・集合数と順序数の意味の違いを理解している。また、前後、左右、上下などの言葉を用いて、ものの順番や位置を表すことができる。 【思判表】単元を通じて評価する。 ・「いくつ」を表す集合数と、「何番め」を表す順序数との違いを、具体物や図などを用いて考えている。 【態】単元を通じて評価する。 ・個数や順番及びものの位置を言葉や数を用いて表すことよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。	1年 1 いくつかな 4 いくつと いくつ 8 10より 大きいかず 15 大きなかず 17 どんなしき になるの かな 2年 6 100より 大きい数 15 1000より 大きい数
	②11、12のよみ方や順序を理解する。 ・干支の動物の順番を調べることをとおして、11、12のよみ方、順序を理解する。	1	【知技】・11、12の数の意味、数え方、よみ方を理解している。	
えあわせゲームをしよう	順序数と集合数を正しく用いることができる。 ・えあわせゲームの活動をとおして、順序数を用いてカードの位置を伝える。 ・「前から4番め」「後ろから4人」などの指示に合わせて起立する。		【知技】・前後、左右、上下などの言葉を用いて、ものの順番や位置を表すことができる。	
3 いまなんじ【1】	①「何時」「何時半」の時刻のよみ方を理解する。★ ・日常生活と関連させて、時計のよみ方を練習する。	1	【知技】・時計の長針、短針の役割を理解し、時刻(何時、何時半)をよむことができる。 【思判表】・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。 【態】単元を通じて評価する。 ・時刻を用いることで日常生活の行動に生かせるというよさに気づき、日常生活の中で時刻を用いようとしている。	1年 16 なんじ なんぶん 2年 2 時刻と時間 3年 2 時刻と時間 *たしかめも んだい①につ いては、たしか めもんだい② の時間で行う。 ★まなびリン クシミュレー ション「時計ツ ール」
はりをあわせよう	「何時」「何時半」の時刻のよみ方に習熟する。 ・模型時計を使って、「何時」「何時半」の問題を出し合う。			

6 (16)	4 いくつといくつ 【7】	①5 を合成・分解することができる。 ・袋から赤と青のおはじきを取り出す活動をとおして、5 を合成・分解する。	1	【知技】・5 を合成・分解することができる。 【思判表】・ある数がいくつといくつできたり、いくつといくつに分けられたりするかを、具体物や図などを用いて考えている。 【態】単元を通じて評価する。 ・具体物や図などを用いて数を表し、ある数を合成・分解することに、主体的に取り組もうとしている。	1年 1 いくつかな 5 ぜんぶでいくつ 6 のこりはいくつ 7 どれだけおい 8 10 より大きい 15 大きいかず
		②6 を合成・分解することができる。 ・6 個のおはじきを両手に分けて持ち、一方の手だけ開き、もう一方の手にいくつあるかを当てるゲームをとおして、6 を合成・分解する。	1	【知技】・6 を合成・分解することができる。	2年 6 100 より大きい数 15 1000 より大きい数
		③7 を合成・分解することができる。 ・2つのさいころの目の和を7にするゲームをとおして、7 を合成・分解する。	1	【知技】・7 を合成・分解することができる。	
		④8 を合成・分解することができる。 ・数図カードを用いたゲームをとおして、8 を合成・分解する。	1	【知技】・8 を合成・分解することができる。	
		⑤9 を合成・分解することができる。 ・数字カードを用いたゲームをとおして、9 を合成・分解する。	1	【知技】・9 を合成・分解することができる。	
		⑥10 を合成・分解することができる。 ・ブロックと数字カードを対応させながら、10 を合成・分解する。 ・ブロックと数図カードを対応させながら、10 を分解した数を順序よく書く。また、分解した数の並び方を見て、1 ずつ増減しているきまりに着目する。	1	【知技】・10 を合成・分解することができる。 【思判表】・10 を分解した数の並び方を見て、1 ずつ増減しているきまりに着目している。	
10であそぼう	⑦10 までの数の合成・分解に習熟する・「2こで10」 神経衰弱のようにして、2つの数で10 を作るゲームをする。 ・「かるたとり」 ある数を示し、それと組み合わせで 10 になるカードを取るゲームをする。 ・縦横に並ぶ数の中から、合わせて 10 になる組み合わせを見つけて囲む。	1	【知技】・10 の合成・分解に習熟している。		
たしかめもんだい① たしかめもんだい② 【 1 】 ※+1	・「いくつかな」の練習をする。 [「なんばんめ」をいいかえよう] ・順序や位置を声に出して言ったり、言いかえたりする活動に取り組む。 ・「いまなんじ」「いくつといくつ」の練習をする。 [「いくつといくつ」をいいかえよう] ・10 までの数の合成・分解を声に出して言ったり、言いかえたりする活動に取り組む。	1			
5 ぜんぶでいくつ 【10】 (ふえるといくつ)	①②加法の意味(増加)、加法の式について理解する。 ・場面絵を見て、「子どもが4人います。1人来ました。全部で5人になりました。」というお話を作る。 ・初めに3匹いて、2匹増えると5匹になる場面を表すことをとおして、加法(増加)の意味と式、「たしざん」の意味を知る。	2	【知技】・加法が用いられる場合(増加)や、加法の式の表し方を理解している。 【思判表】・加法が用いられる場面を、ブロックなどを用いて考えたり、図に表したりしている。(④まで同評価基準) 【態】単元を通じて評価する。 ・加法の意味や式、計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えたり、加法の場面を身のまわりから見つけ、用いたりしようとしている。	1年 4 いくつといくつ 6 のこりはいくつ 7 どれだけおい 8 10 より大きい 11 3つのかず 12 たしざん 13 ひきざん	
	③和が5以下の加法の計算ができる。 ・増加の場面の文章題を解く。	1	【知技】・増加の場面の文章題を解いたり、和が5以下の加法の計	15 大きいかず	

		・和が5以下の加法の計算練習をする。		算をしたりすることができる。	
	(あわせていくつ)	④加法の意味(合併)を理解する。・5匹と3匹を合わせると8匹になる場面を表すことをとおして、加法(合併)の意味を知る。	1	【知技】・加法が用いられる場合(合併)を理解し、文章題を解くことができる。	
		⑤合併や増加の加法の場면을言葉やブロック、図で表現し、加法の意味について理解を深める。 ・ $4+2=6$ の式をもとに、合併と増加の問題場面を考え、それぞれ言葉やブロック、図で表現する。	1	【思判表】・増加と合併の場面について、その違いを意識しながら、ブロックや図、式などを用いて表現している。	
		⑥異種の量の加法の意味を理解する。また、和が10以下の加法の計算ができる。 $6+3=9$ の式になるお話を作る。 ・画用紙を5人に1枚ずつ配り、まだ2枚残っているときの全部の枚数を求めることをとおして、異種の量の加法の意味を知る。 ・和が10以下の加法の計算練習をする。	1	【知技】・加法が用いられる場合(異種の量)を理解している。また、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算ができる。	
		⑦0の加法の意味を理解する。 ・玉入れの得点を表す場面をとおして、0の加法の意味を知る。	1	【知技】・0を含む加法の意味を理解している。	
	けいさんれんしゅうをしよう	⑧和が10以下の加法の計算に習熟する★ ・計算カードを使って、加法の計算練習をする。	1	【知技】・1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算が確実にできる。	★まなびリンクシミュレーション「たし算カード」
7 (12)		⑨同じ答えの加法の式を順序よく並べて、被加数や加数の変化のきまりに着目することができる。 ・答えが6になる加法のカードを順序よく並べる。 ・同じ答えの加法のカードを順序よく並べる。	1	【思判表】・同じ答えの加法の式の並べ方を、被加数と加数の変化のきまりに着目して工夫している。	
	たしざんをつくろう	⑩10以下の数を、加法の式で表すことができる。 ・1~9までのゼッケンを使って、指示された数が答えになるようにペアをつくり、加法の式に表す。	1	【知技】・10以下の数を、加法の式で表すことができる。	
	たしかめもんだい③ 【1】 ※+1	・「ぜんぶでいくつ」の練習をする。 [たしざんえほんをつくろう] ・ $4+3=7$ の式になるお話を考えて、絵本を作る。	1		
	6のこりはいくつ【8】	①②減法の意味(求残)、減法の式について理解する。 ・場面絵を見て、「子どもが3人います。2人帰りました。残りは1人になりました。」というお話を作る。 ・初めに5匹いて、3匹取ると2匹になる場面を表すことをとおして、減法(求残)の意味と式、「ひきざん」の意味を知る。	2	【知技】・減法が用いられる場合(求残)や、減法の式の表し方を理解している。 【思判表】・減法が用いられる場面を、ブロックなどを用いて考えたり、図に表したりしている。(④まで同評価基準) 【態】単元を通じて評価する。 ・減法の意味や式、計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えたり、減法の場面を身のまわりから見つけ、用いたりしようとしている。	1年 4 いくつと いくつ 5 ぜんぶで いくつ 7 どれだけ おおい 8 10より 大きいかず 11 3つのかず のたしざん、 ひきざん 12 たしざん
		③10以下の数から1位数をひく減法の計算ができる。 ・求残の場面の文章題を解く。 ・10以下の数から1位数をひく減法の計算練習をする。	1	【知技】・求残の場面の文章題を解いたり、差が4以下の減法の計算をしたりすることができる。	13 ひきざん 15 大きなかず
		④減法の意味(求補)を理解する。・8人のうち3人が大人のときの子ども的人数を求めることをとおして、減法(求補)の意味を知る。	1	【知技】・減法が用いられる場合(求補)を理解し、文章題を解くことができる。	
		⑤異種の量の減法の意味を理解する。また、10以下の数から1位数をひく減法の計算ができ	1	【知技】・減法が用いられる場合(異種の量)を理解している。ま	

		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$6-2=4$の式になるお話を作る。 ・帽子が9個あって6匹のどんぐりが1個ずつ持っていくときの残りの数を求めることをとおして、異種の量の減法の意味を知る。 ・10以下の数から1位数をひく減法の計算練習をする。 		<p>た、1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算ができる。</p>	
		<p>⑥0の減法の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちごの数が増えていく場面をとおして、0の減法の意味を知る。 	1	<p>【知技】・0を含む減法の意味を理解している。</p>	
	けいさんれんしゅうをしよう	<p>⑦10以下の数から1位数をひく減法の計算に習熟する。★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算カードを使って、減法の計算練習をする。 	1	<p>【知技】・1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算が確実にできる。</p>	★まなびリンクシミュレーション「ひき算カード」
		<p>⑧同じ答えの減法の式を順序よく並べて、被減数や減数の変化のきまりに着目することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えが4になる減法のカードを順序よく並べる。 ・同じ答えの減法のカードを順序よく並べる。 	1	<p>【思判表】・同じ答えの減法の式の並べ方を、被減数と減数の変化のきまりに着目して工夫している。</p>	
	たしかめもんだい④【1】※+1	<ul style="list-style-type: none"> ・「のこりはいくつ」の練習をする。 <p>[ひきざんえほんをつくろう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$7-3=4$の式になるお話を考えて、絵本を作る。 	1		
8(8)	7 どれだけおおい【3】	<p>①②減法の意味（求差）を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちごあめはぶどうあめより何個多いかを求めることをとおして、求差（AはBよりいくつ多い）の意味を知る。 ・バスとタクシーではどちらが何台多いかを求めることをとおして、求差（どちらがいくつ多い）の意味を知る。 	2	<p>【知技】・減法が用いられる場合（求差）を理解し、文章題を解くことができる。（AはBよりいくつ多い）【思判表】単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減法が用いられる場面を、ブロックなどを用いて考えたり、図に表したりしている。【態】単元を通じて評価する。 ・減法の意味や式、計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えたり、減法の場面を身のまわりから見つけ、用いたりしようとしている。 	<p>1年</p> <p>4 いくつといくつ</p> <p>5 ぜんぶでいくつ</p> <p>6 のこりはいくつ</p> <p>8 10より大きいかず</p> <p>11 3つのかずのたしざん、ひきざん</p> <p>12 たしざん</p> <p>13 ひきざん</p> <p>15 大きなかず</p>
	(ちがいはいくつ)	<p>③異種の量の減法の意味（求差）を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いすと子どもの数の違いを求めることをとおして、異種の量の求差（ちがいはいくつ）の意味を知る。 	1	<p>【知技】・減法が用いられる場合（求差）を理解し、文章題を解くことができる。（ちがいはいくつ）</p>	
	◎たしかめもんだい⑤【1】※+1	<ul style="list-style-type: none"> ・「どれだけおおい」の練習をする。 	1		
	■いったりきたり	<p>①数の大小の比較及び減法の計算に習熟する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数の大小を比較したり、減法を用いたりして、数カードを使ったすごろくゲームをする。 	1	<p>【知技】・10までの数について、大小を比べたり差を求めたりすることができる。</p>	
	■さんずうえにつき	<p>①数や形に関わるお話を言葉や絵に表し、算数への関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数や形に関わるお話を絵日記にして、発表する。 	1	<p>【思判表】・日常の事象の中から、数や形を見だし、表現することができる。</p>	
	8 10より大きいかず【10】	<p>①②20までの数の数え方、よみ方、表し方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あさがおや貝殻の数を数えることをとおして、13や18のよみ方、表し方を知る。 ・とんぼの数を数えることをとおして、20のよみ方、表し方を知る。 	2	<p>【知技】・20までの数について、数え方、よみ方、表し方を理解している。</p> <p>【思判表】・10より大きい数について、2ずつや5ずつ、10ずつなどの数のまとまりを用いて数え</p>	<p>1年</p> <p>1 いくつかな</p> <p>2 なんばんめ</p> <p>4 いくつといくつ</p>

		・11～20の数のよみ方、書き方を知る。		たり、「10とあといくつ」などの見方を用いて表し方や比べ方を考えたりしている。 【⑦まで同評価基準】 【態】単元を通じて評価する。 ・身のまわりのものの個数を数えたり、数えたものを数字で表したり、30程度までの数を身のまわりから見つけ、その大きさを捉えたりしようとしている。	5 ぜんぶでいくつ 6 のこりはいくつ 7 どれだけおいおい 15 大きなかず 2年 6 100より大きい数 15 1000より大きい数
9 (12)		③数のまとまりに着目しながら、20までの数を数えることができる。・20までの具体物を、10といくつとみて数えたり、2とびや5とびで数えたりする。	1	【知技】・20までの数について、2とびや5とびで数えるしかたを理解し、数えたり表したりすることができる。	
		④20までの数を合成・分解することができる。・20までの数を10といくつに合成・分解する。	1	【知技】・20までの数を10といくつに合成・分解することができる。	
		⑤20までの数を数直線上に表し、数の順序、系列を理解する。 ・うさぎなどの進んだ位置を考えることをとおして、数直線(数の線)について知る。 ・20までの数の順序、系列を考える。 ・20までの数で順序数と集合数の違いを考える。	1	【知技】・20までの数について、数直線での位置、順序、系列を理解している。	
		⑥20までの数の大小を理解する。 ・20までの数の大小を比較したり、大小を言い表したりする。	1	【知技】・20までの数の大小を理解し、比べることができる。	
	(20より大きいかず)	⑦20台、30台の数の数え方、よみ方、表し方を理解する。 ・どんぐりやノートの数を数えることをとおして、20台、30台の数の数え方、よみ方、書き方を知る。	1	【知技】・20台、30台の数について、数え方、よみ方、表し方を理解している。	
	たしざんとひきざん	⑧十+1位数の加法と、その逆の減法の計算のしかたを理解する。 ・10+3、13-3のような、十+1位数の加法の計算とその逆の減法の計算のしかたを、数の構成をもとに考える。	1	【知技】・十+1位数の加法と、その逆の減法の計算ができる。 【思判表】・十+1位数及び十+1位数の加法と、その逆の減法の計算のしかたを、数の構成をもとにブロックなどを用いて考えている。 【⑨まで同評価基準】	
		⑨繰り上がり、繰り下がりのない、十何+1位数の加法と、その逆の減法の計算のしかたを理解する。 ・15+2、18-3のような、十何+1位数の加法の計算とその逆の減法の計算のしかたを、数の構成をもとに考える。 [10をひくひきざん]* ・17-10の答えの求め方を考える。	1	【知技】・繰り上がり、繰り下がりのない、十何+1位数の加法と、その逆の減法の計算ができる。	
	かずをさがそう	⑩身のまわりの数に関心を持ち、30くらいまでの数を探することができる。 ・身のまわりから、30くらいまでの数を探す。	1	【知技】身のまわりから30くらいまでの数を探することができる。	
	9 かずをせいりして【2】	①②ものの数を種類ごとに分類整理したり、絵や図に表したりすることができる。・あさがおの数を、「曜日」に着目して分類整理し、絵グラフに表す。 ・あさがおの数を、着目する観点を「色」に変えて分類整理し、絵グラフに表して、気がついたことを話し合う。	1	【知技】単元全体を通じて評価する。 ・ものの数を種類ごとに分類整理して絵や図に表したり、それらをよみ取ったりすることができる。 【思判表】単元を通じて評価する。	1年 1 いくつかな 2年 1 表とグラフ 3年
	かずのおおさをくらべよう	絵や図を用いた数量の表現に関心を持ち、日常生活や学習に絵グラフを活用することができる。* ・野菜の数調べなど、学級の興味・関心に応じ	1	・データの個数がわかりやすくなるように表し方を工夫して、身のまわりの事象の特徴を捉えている。 【態】単元を通じて評価する。	6 表とぼうグラフ

		て資料を集め、絵グラフに表したりよみ取ったりする。 ・絵や図の代わりに記号を用いてグラフに表す場合があることを知る。		・ものの個数を絵や図などを用いてわかりやすく表すことのよさや楽しさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。	
	10 かたちあそび 【5】 たかくつもう まちをつくらう	①②箱などの具体物を観察し、それらを使って構成する活動をとおして、立体図形の特徴や機能を理解する。 ・箱を高く積み上げる活動に取り組み、高く積むための工夫について説明する。 ・建物や車などいろいろな形を作り、形を構成する際の工夫について説明する。	2	【知技】・身のまわりにあるものの形について、形の特徴や機能的な特徴を理解し、箱などを用いて具体物の形を作ったり、作った形から逆に具体物を想像したりすることができる。 【思判表】単元を通じて評価する。 ・身のまわりにあるものの形について、色や大きさ、位置や材質などに関係なく形を認め、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりしている。 【態】単元を通じて評価する。 ・身のまわりにあるものの形に関心をもち、観察したり構成したり分解したりすることに主体的に取り組もうとしている。	1年 18 かたちづくり 2年 9 三角形と四角形 14 はこの形 3年 9 円と球
10 (16)		③箱などの具体物を観察し、それらの形の特徴を捉えて分類することができる。・箱の形の特徴に着目して、箱の形、さいころの形、つつの形、ボールの形に仲間分けをする。	1	【知技】・身のまわりにあるものの形の特徴を捉えて分類することができる。	
		④箱などの具体物の面の形の特徴を捉え、それらを使って形を構成することができる。 ・箱の形の面を色紙に写し取って切り取り、ながしかく、ましかく、さんかく、まるに仲間分けをする。 ・面の形を切り取った色紙を使っていろいろな形を構成する。	1	【知技】・箱などの具体物の面の形の特徴を捉え、しかく、さんかく、まるなどを見つけ、それらを使って形を構成することができる。	
		⑤立体図形の特徴を捉え、表現することができる。 ・形の特徴を言葉で表し伝え、その特徴をもつ立体図形を手で触って当てる。 ・立体図形を触って特徴を伝え、その特徴からどんな形かを当てる。	1	【知技】・身のまわりにあるものの形について、平ら、丸い、かどがあるなどの形の特徴を理解している。	
	◎たしかめもんだい ⑥ 【 1 】 ※+1	・「10より大きいかず」「かずをせいりして」「かたちあそび」の練習をする。	1		
	■こうていでさんすう	①加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。 ・校庭の場面絵をもとに、加法、減法の問題を解いたり、問題を作ったりする。	1	【知技】・加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。	
	11 3つのかずのたしざん、ひきざん 【4】	①3口の数の加法になる場面を式に表し、計算ができる。 ・電車ごっこでうさぎが乗っていく場面絵を見て、3口の加法の式に表し、答えを求める。	1	【知技】・3口の加法が用いられる場合を理解し、式に表し、計算ができる。 【思判表】・3口の加法や減法が用いられる場面を、ブロックなどを用いて考えたり、図に表したりしている。 【③まで同評価基準】 【態】単元を通じて評価する。 ・3口の加法、減法の意味や式、計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えようとしている。	1年 4 いくつといくつ 5 ぜんぶでいくつ 6 のこりはいくつ 7 どれだけおい 8 10より大きいかず 12 たしざん 13 ひきざん 15 大きなかず
		②3口の数の減法になる場面を式に表し、計算	1	【知技】・3口の減法が用いられ	

		<p>ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室のりすが帰る場面絵を見て、3口の減法の式に表し、答えを求める。 		<p>る場合を理解し、式に表し、計算ができる。</p>	
		<p>③3口の数の加減混合の計算になる場面を式に表し、計算ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メダルをあげたり作ったりする場面絵を見て、3口の加減混合の式に表し、答えを求める。 	1	<p>【知技】・3口の加減混合の計算が用いられる場合を理解し、式に表し、計算ができる。</p>	
		<p>④10を多面的に捉えて、式に表すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10個のおはじきの並べ方をいろいろな式に表したり、表された式から並べ方を考えたりする。 	1	<p>【思判表】・10を多面的に捉えて、おはじきの並べ方や式の表し方を考えたり、並べ方や式をよみ取ったりしている。</p>	
	◎たしかめもんだい ⑦ 【1】 ※+1	<ul style="list-style-type: none"> ・「3つのかずのたしざん、ひきざん」の練習をする。 	1		
	1 2 たしざん 【10】	<p>①加法が用いられる場面を理解し、加法の問題を作ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面絵を見て加法の問題を作り、加法の計算のしかたを振り返る。また、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・算数の学習の進め方を知る。 	1	<p>【知技】・加法が用いられる場合を理解し、既習の繰り上がりのない加法の問題を作り、計算ができる。</p> <p>【態】単元を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりのある加法の計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えようとしている。 	<p>1年</p> <p>4 いくつと いくつ 5 ぜんぶで いくつ 6 のこりは いくつ 7 どれだけ おおい</p>
		<p>②③1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた（加数分解）を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9+4のような、1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかたを加数分解で考える。 ・繰り上がりのある加法の計算練習をする。 <p>[ともだちのノートを見てみよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。 <p>[算数のミカタ] ・繰り上がりのある加法の計算のしかたを考えると、10のまとまりに着目して、10とあといくつという見方をしたことを振り返る。</p>	2	<p>【知技】・1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた（加数分解）を理解し、計算ができる。（知技については、算数のミカタまで同基準）</p> <p>【思判表】・10のまとまりに着目し、繰り上がりのある加法の計算のしかたをブロックや図、式などを用いて考えている。（⑥まで同評価基準）</p>	<p>8 10より 大きいかず 11 3つのかず のたしざん、 ひきざん 13 ひきざん 15 大きなかず</p> <p>2年</p> <p>3 たし算 4 ひき算 6 100より 大きい数 7 たし算と ひき算 15 1000より 大きい数</p>
		<p>④⑤1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた（被加数分解）を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7+9の計算のしかたを、加数分解、被加数分解で考える。 ・繰り上がりのある加法の計算練習をする。 	2	<p>【知技】・1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた（被加数分解）を理解し、計算ができる。</p>	
		<p>⑥1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりのある加法の文章題を解いたり、問題を作ったりする。 	1	<p>【知技】・加法が用いられる場合を理解し、1位数+1位数で繰り上がりのある加法の文章題を解くことができる。</p>	
1 1 (16)	けいさんれんしゅう をしよう	<p>⑦⑧1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算に習熟する。★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算カードを使って、加法の計算練習をする。 ・計算カードを順序よく並べて、気がついたことを話し合う。 	2	<p>【知技】・1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算が確実にできる。</p>	★まなびリンク シミュレーション「たし算カード」
		<p>⑨⑩同じ答えの加法の式を順序よく並べて、被加数や加数の変化のきまりに着目することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある数を示し、その数が答えになる計算カードを取るゲームをする。 ・同じ答えの加法のカードを順序よく並べて、被加数と加数のきまりに着目する。 	2	<p>【知技】・1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算が確実にできる。</p> <p>【思判表】・被加数と加数の変化のきまりに着目して、答えが同じ加法の式の見つけ方を工夫している。</p>	
	◎たしかめもんだい ⑧ 【1】 ※+1	<ul style="list-style-type: none"> ・「たしざん」の練習をする。 <p>[なにが出てくるかな]</p>	1		

		・繰り上がりのある加法の計算の練習に取り組む。			
13	ひきざん 【10】	①減法が用いられる場面を理解し、減法の問題を作ることができる。 ・場面絵を見て減法の問題を作り、減法の計算のしかたを振り返る。また、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。	1	【知技】・減法が用いられる場合を理解し、既習の繰り下がりのない減法の問題を作り、計算ができる。 【態】単元を通じて評価する。 ・繰り下がりのある減法の計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えようとしている。	1年 4 いくつと いくつ 5 ぜんぶで いくつ 6 のこりは いくつ 7 どれだけ おおい
		②③十何-1 位数で繰り下がりのある減法の計算のしかた（減加法）を理解する。・12-9 のような、十何-1 位数で繰り下がりのある減法の計算のしかたを減加法で考える。 ・繰り下がりのある減法の計算練習をする。	2	【知技】・十何-1 位数で繰り下がりのある減法の計算のしかた（減加法）を理解し、計算ができる。 （【おおいのかな、すくないのかな】まで同評価基準） 【思判表】・10のまとまりに着目し、繰り下がりのある減法の計算のしかたをブロックや図、式などを用いて考えている。（⑥まで同評価基準）	8 10より 大きいかず 11 3つのかず のたしざん、 ひきざん 12 たしざん 15 大きなかず
		[ともだちのノートを見てみよう] ・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。			2年 3 たし算 4 ひき算 6 100より 大きい数
		[おおいのかな、すくないのかな] ・数が多い・少ないを言い換える活動をとおして、加法と減法が逆の関係にあることに気づく。			7 たし算と ひき算 15 1000より 大きい数
		④⑤十何-1 位数で繰り下がりのある減法の計算のしかた（減減法）を理解する。・12-3 の計算のしかたを、減加法、減減法で考える。 ・繰り下がりのある減法の計算練習をする。	2	【知技】・十何-1 位数で繰り下がりのある減法の計算のしかた（減減法）を理解し、計算ができる。	
		⑥十何-1 位数で繰り下がりのある減法の計算ができる。 ・繰り下がりのある減法の文章題を解いたり、問題を作ったりする。	1	【知技】・減法が用いられる場合を理解し、十何-1 位数で繰り下がりのある減法の文章題を解くことができる。	
けいさんれんしゅう		⑦⑧十何-1 位数で繰り下がりのある減法の計算に習熟する。★ ・計算カードを使って、減法の計算練習をする。 ・計算カードを順序よく並べて、気がついたことを話し合う。	2	【知技】・十何-1 位数で繰り下がりのある減法の計算が確実にできる。	★まなびリンク シミュレーション「ひき算 カード」
		⑨⑩同じ答えの減法の式を順序よく並べて、被減数や減数の変化のきまりに着目することができる。 ・ある計算カードを示し、それと同じ答えになる計算カードを出すゲームをする。 ・同じ答えの減法のカードを順序よく並べて、被減数と減数のきまりに着目する。	2	【知技】・十何-1 位数で繰り下がりのある減法の計算が確実にできる。 【思判表】・被減数と減数の変化のきまりに着目して、答えが同じ減法の式の見つけ方を工夫している。	
	◎たしかめもんだい ⑨ 【 1 】 ※+1	・「ひきざん」の練習をする。 [ななが出てくるかな] ・繰り下がりのある減法の計算の練習に取り組む。	1		
12 (12)	14 くらべかた 【9】 (ながさくらべ)	①ものの大きさを比べることに関心をもち、長さの意味、比べ方（直接比較）を理解する。 ・身のまわりにあるものの大きさ（長さ、かさ、広さなど）に着目し、大きさを表す言葉（長い、多い、広いなど）を用いて表現する。 ・2本の鉛筆、2本のひも、ハンカチの縦と横の長さを直接比較で比べる。	1	【知技】・長さの意味を理解し、長さを直接比較によって比べることができる。 【思判表】・身のまわりのものの特徴の中で、比べたい量に着目し、直接比べたり、媒介物を用いて間接的に比べたり、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化したりするなど、比べ方を考えている。（⑧まで同評価基準） 【態】単元を通じて評価する。	2年 5 長さ 12 長いものの 長さ 8 水のかさ 3年 5 長さ 11 重さ

			・身のまわりにあるものの量（長さ、かさ、広さなど）に関心を持ち、量の大きさを比べることに主体的に取り組もうとしている。	
		②③長さの比べ方（間接比較）を理解する。 ・教卓が教室の入り口を通るかどうか、長さをテープに写し取って間接比較で比べる。 ・いろいろなものの長さをテープに写し取って比べる。	2	【知技】・ものの長さを間接比較によって比べることができる。
		④長さの任意単位による測定について理解する。 ・学習机の横と縦の長さを、糊や鉛筆を単位として、そのいくつ分で表して比べる。 ・いろいろなものの長さを、方眼のいくつ分で表して比べる。	1	【知技】・ものの長さについて、ある大きさを単位としてそのいくつ分かで数値化して比べることができる。
	(水のかさしらべ)	⑤⑥かさの意味、比べ方（直接比較、間接比較）を理解する。 ・2つの入れ物のかさを、一方の入れ物の水を他方の入れ物に移して比べる。 ・3つの入れ物のかさを、同じ入れ物に水を移したときの水面の高さで比べる。 ・2つの水槽のかさを、一方の水槽を他方の中に入れて比べる。	2	【知技】・かさの意味を理解し、もののかさを直接比較、間接比較によって比べることができる。
	(ひろさくらべ)	⑦かさの任意単位による測定について理解する。 ・2つの水筒のかさについて、どちらがどれだけ多く入るかを、同じ大きさのコップを単位として、そのいくつ分で表して比べる。	1	【知技】・もののかさについて、ある大きさを単位としてそのいくつ分かで数値化して比べることができる。
		⑧広さの意味、比べ方（直接比較）、任意単位による測定について理解する。 ・レジャーシートの広さを、直接重ねて比べる。 ・掲示板の広さを、同じ大きさの紙を単位として、そのいくつ分で表して比べる。	1	【知技】・ものの広さについて、直接比較や、ある大きさを単位としてそのいくつ分かで数値化して比べることができる。
	じんとりゲームをしよう	⑨広さを任意単位で表し、比べることができる。 ・方眼を使った陣取り遊びに取り組み、陣地の広さをます目のいくつ分で表して比べる。	1	【思判表】・広さの大小を比べる場合に、ある大きさを単位としてそのいくつ分かで数値化する見方を生かしている。
	◎たしかめもんだい ⑩ 【1】 ※+1	・「くらべかた」の練習をする。	1	
	■さんすうでふゆじたく	①20までの数の順序、系列、加法、減法の計算に習熟する。 ・20までの数で、すごろくをする。 ・加法、減法の練習問題に取り組む。 ・「けいさんしりとり」に取り組む。	1	【知技】・20までの数の順序、系列を理解するとともに、繰り上がりのある加法及び繰り下がりのある減法の計算ができる。
1 (8)	15 大きなかず 【11】	①②100未満の数の数え方、よみ方、表し方、十進位取り記数法の基礎（一の位、十の位）を理解する。 ・あさがおの種の数を10のまとまりを作って数えることをとおして、100未満の数のよみ方、表し方を知る。 ・十の位、一の位について知る。	2	【知技】・一の位、十の位について知り、2位数のよみ方、表し方を理解し、書いたりよんだりすることができる。 【思判表】・2位数について、「10のまとまりがいくつと、端数がいくつ」などの見方を用いて表し方や比べ方を考えている。(③まで同評価基準) 【態】単元を通じて評価する。 ・身のまわりのものの個数を数えたり、数えたものを数字で表したり、120程度までの数を身のまわりから見つけ、その大きさを捉えたりしようとしている。
				1年 1 いくつかな 2 なんばんめ 4 いくつと いくつ 5 ぜんぶで いくつ 6 のこりは いくつ 7 どれだけ おおい 8 10より 大きいかず 2年

				6 100 より 大きい数
	③2 位数の構成を理解する。 ・43 個のブロックを、ぱっと見て個数がわかりやすくなるように置く。 ・2 位数を 10 がいくつと 1 がいくつと捉えるなど、多様な見方で表す。	1	【知技】・2 位数を 10 がいくつと 1 がいくつと捉えることをとおして、数の構成を理解している。	15 1000 より 大きい数
	④100 の数え方、よみ方、書き方を理解する。 ・ビーズの数を数えることをとおして、10 を 10 個集めた数を「百」といい、100 と書くことや、99 より 1 大きい数であることを知る。	1	【知技】・百について知り、100 の数え方、よみ方、書き方を理解している。	
	⑤100 までの数表を見て、数の並び方のきまりに着目することができる。 ・100 までの数表を縦、横、斜めに見て、数の並び方のきまりを見つける。	1	【思判表】・100 までの数表から、数の並び方に関するきまりを見いだしている。	
	⑥数直線をもとに、2 位数の順序、大小、系列について理解する。 ・数直線（数の線）を用いて、100 までの数の順序、大小、系列を考える。	1	【知技】・100 までの数について、数直線での位置、順序、大小、系列を理解している。	
(100 より大きい かず)	⑦⑧簡単な 3 位数の数え方、よみ方、表し方、順序、大小、系列を理解する。 ・色違いの花の数を数えることをとおして、100 より大きい数の表し方を知る。 ・120 程度までの数の表し方、順序、大小、系列を考える。 [さんすうメモ]* ・十の位の 1 つ左の位を百の位ということを知る。	2	【知技】・120 程度までの数について、数え方、よみ方、表し方、及び数直線での位置、順序、大小、系列を理解している。	
たしざんとひきざん	⑨十を単位としてみられる数の加法、減法の計算のしかたを理解する。 ・ $30+20$ 、 $60-20$ のような、簡単な 2 位数どうしの加法、減法の計算のしかたを考える。	1	【知技】・十を単位としてみられる数の加法、減法の計算ができる。 【思判表】・十を単位としてみられる数の加法と減法、及び簡単な 2 位数と 1 位数の加法と減法の計算のしかたを、10 のまとまりや数の構成などをもとにブロックなどを用いて考えている。 (⑩まで同評価基準)	
2 (12)	⑩簡単な 2 位数と 1 位数の加法、減法の計算のしかたを理解する。 ・ $24+3$ 、 $36-4$ のような、簡単な 2 位数と 1 位数の加法、減法の計算しかたを考える。	1	【知技】・簡単な 2 位数と 1 位数の加法、減法の計算ができる。	
かずあてゲーム	⑪2 位数の構成、順序、大小、系列について理解を深める。 ・数の大きさに関わる質問をして、相手の持っているカードの数をできるだけ少ない回数で当てるゲームをする。	1	【知技】・2 位数の構成、順序、大小、系列について理解している。	◎たしかめ もんだい⑩は、 たしか めもんだい ⑩の時間に行う。
16 なんじなんぶ ん 【3】	①②時計のしくみを理解し、時刻をよむことができる。★ ・時計の目盛りのしくみを調べ、日常生活に関連させて、「何時何分」のような時刻をよんだり、用いたりする。	2	【知技】・時計の目盛りのしくみを理解している。 【思判表】単元を通じて評価する。 ・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。 【態】単元を通じて評価する。 ・時刻を用いることで日常生活の行動に生かせるというよさに気づき、日常生活の中で時刻を用いようとしている。	1年 3 いまなんじ 2年 2 時刻と時間 3年 2 時刻と時間 ★まなびリンク シミュレーション「時計ツール」
なんじなんぶなか	③「何時何分」の時刻のよみ方に習熟する。 ・模型時計を使って、「何時何分」の問題を出し合う。	1	【知技】・時刻（何時何分）をよむことができる。	
■おなじかずずつに	①1 つの数を多面的にみて、同じ数のまとまり	1	【知技】・おなじきを同じかずつ	

	わけよう	としてみたり、等分した数としてみたりして、おはじきや式で表すことができる。 ・12個のおはじきを2個ずつに分けたり、2人で同じ数ずつに分けたりして、それらを式に表す。		に整理して分けたり、それを式に表したりすることができる。 【思判表】・1つの数を同じ数のまとまりとしてみたり、等分した数としてみたりして、多面的に捉えている。	
	17 どんなしきになるかな【4】 (じゅんばんのかずのけいさん)	①順序数の加法の意味、計算のしかたを理解する。 ・ある子どもの位置が前から5番めで、更に後ろに3人いる場面で、全部で何人いるかを図などをかいて考え、加法を適用して解決する。	1	【知技】・順序数の加法が用いられる場合を理解し、文章題を解くことができる。 【思判表】 ・順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法が用いられる場面の式を、図に表して考えている。 【態】単元を通じて評価する。 ・順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味や式、計算の仕方について、具体物や図などを用いて主体的に考えようとしている。	1年 2 なんばんめ 5 ぜんぶでいくつ 6 のこりはいくつ 7 どれだけおおい 12 たしざん 13 ひきざん 2年 16 図をつかっ て考えよう
		②順序数の減法の意味、計算のしかたを理解する。 ・全部で9人並んでいて、ある子どもの位置が前から4番めの場面で、後ろに何人いるかを図などをかいて考え、減法を適用して解決する。	1	【知技】・順序数の減法が用いられる場合を理解し、文章題を解くことができる。	3年 16 □を使った式と図
	(ちがいをかんがえるけいさん)	③求大の場面の加法の意味、計算のしかたを理解する。 ・兄が作った雪玉の数と、妹がそれより何個多く作ったかがわかっている場面で、妹が作った雪玉の数を図などをかいて考え、加法を適用して解決する。	1	【知技】・求大の場面で加法が用いられる場合を理解し、文章題を解くことができる。	
	④求小の場面の減法の意味、計算のしかたを理解する。 ・兄が食べた豆の数と、妹がそれより何個少なく食べたかがわかっている場面で、妹が食べた数を図などをかいて考え、減法を適用して解決する。	1	【知技】・求小の場面で減法が用いられる場合を理解し、文章題を解くことができる。		
	◎たしかめもんだい ⑪ ◎たしかめもんだい ⑫ 【1】 ※+1	・「大きなかず」の練習をする。 ・「なんじなんぶん」「どんなしきになるかな」の練習をする。	1		
3 (8)	18 かたちづくり【5】	①②ものの形の特徴を捉え、色板を使って形を構成・分解することができる。 ずらす、回す、裏返すなどの移動の操作によって、形を構成することができる。・色板を組み合わせて、シルエットに合わせた形を作ったり、いろいろな形を作ったりする。 ・4枚の色板でできた形を、ずらす、回す、裏返すなどの操作によって1枚だけ移動して、ほかの形に変える。	2	【知技】色板を組み合わせて、ずらす、回す、裏返すなどの具体的な操作をとおして、身のまわりにある具体物の形を作ることができる。 【思判表】単元を通じて評価する。 ・身のまわりにある具体物の特徴を捉え、それらの形の構成のしかたを考えている。 【態】単元を通じて評価する。 ・身のまわりにあるものの形に関心をもち、観察したり構成したり分解したりすることに主体的に取り組もうとしている。	1年 10 かたちあそび 2年 9 三角形と四角形 3年 13 三角形 4年 7 垂直、平行と四角形
		③ものの形を線で捉え、ストローを使って形を構成・分解することができる。・ストローを使って、さんかくやしかくを作ったり、いろいろな形を作ったりする。 [かたちを見つけよう] ・身のまわりから、いろいろな形のものを見つける。	1	【知技】ストローを使ってさんかくやしかくを作ったり、それらの形を組み合わせて、身のまわりにある具体物の形を作ったりすることができる。	
		④ものの形を点と線で捉え、格子点を線でつな	1	【知技】・点と点を結んでさんか	

	いで形を構成・分解することができる。 ・格子点を線でつないで、さんかくやしかくを作ったり、いろいろな形を作ったりする。		くやしかくをかいたり、かいた形から具体物をを想像したりすることができる。	
いろいろなパズルをつくろう	⑤色板を使って形を構成・分解する活動をとおして、平面図形についての感覚を豊かにする。 ・色板で作った形のシルエットでパズルを作り、友だちと交換して解き合う。	1	【知技】色板を用いて具体物の形を構成したり、その形をさんかくやしかくに分解して捉えたりすることができる。	
■どこにあるかな	①2方向からものの位置を表すことができる。 ・ロッカーのイラストを見て、下から○番め、左から○番めのように、2方向からものの位置を表す。	1	【知技】・上下、左右、前後などの言葉を用いて、2方向からものの位置を表すことができる。	
◎1年のまとめ【3】	①②③第1学年の学習内容の問題を解決することができる。 ・数と計算、図形、測定、データの活用についての問題に取り組む。[大きなかずのたしざん] ・ $34+20$ の答えの求め方を考える。 [1から9までたすと] ・1から9までの和を工夫して求める。	3	【知技】単元を通じて評価する。 ・第1学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。	
■もののいちのかぞえかた	・いろいろなものを数えるときの助数詞について知る。			
■あたらしい1年生がくるよ	・教室の場面絵を見て、1学年で学習した内容についての問題を作り、答えを求める。			
■アスレチックすごろく	・120までの数の順序、大小、系列についての学習を活用して、すごろくゲームをする。			